

# 大切なものは、勇気。守るものは、愛

ベンジー遭難! 一人ぼっちの大自然で出あったみなしごクーパーたち……  
おそいかかる恐ろしい敵を相手に、ベンジーは生涯最大の冒険を開始した!

WALT DISNEY  
Pictures



# がんばれ! がんばれ! ベンジー

A JOE CAMP FILM

ウォルト・ディズニー映画 提供/ジョー・キャンプ作品 "がんばれ! がんばれ! ベンジー"  
エンパーク/マルベリー・スクエア 共同製作/音楽 ユーエル・ボックス & ベティ・ボックス  
撮影 ドン・レッティ / サウンド・デザイン C.M.S. プロダクション / 製作総指揮 エド・バンストン  
製作監督 キャロリン・H・キャンプ / 製作 ベン・ポーン

脚本・監督 ジョー・キャンプ  
共同提供 シルバー・スクリーン・パートナーズ III

© 1987 The Walt Disney Company

CFIカラー **DD** [DOLBY STEREO]™  
IN SELECTED THEATRES

**Benji**  
The Hunted



# 「ベンジーが ウォルト・ディズニーと手を組んで 夢が大きくふくらんだ！」



「演技のできる犬」ベンジーを主人公にしたシリーズ四作目は、75パーセントがセリフもなければ人間も出てこないユニークな作品である。

ベンジーは育ての親フランク・インに連れられて海に出たが、嵐で舟が転覆。やつと岸にたどりついたものの、フランクの姿はなくひとりぼっちになったベンジーは、深い森の中をさまよううち、心ないハンターのせいで親を失ったクーパーの赤ちゃんたちを見つけた。その子たちの親代わりになって安全な住みかを見つけてあげようと思つたベンジーに、巨大なクマやオオカミなど恐ろしい森の天敵が次々と襲いかかる……

ベンジー・シリーズの生みの親ジョー・キヤンプ監督は少年時代ウォルト・ディズニーのような映画を作りたいという夢を抱いていた。75年の「ベンジー」で彼はその夢を実現させ、続いて「ベンジーの愛」「名探偵ベンジー」と夢をつないでいったが、今回はウォルト・ディズニーと名前が結びついて、また一つ夢が叶ったわけである。

彼は三作目でこのシリーズを打ち切りにするつもりだったという。しかし新しいストーリーが浮かんできて、前言を撤回して四作目に挑戦したが、こんな映画は初めてで、非常にむずかしかった。ベンジーの演技力、表現力が映画を引っばっていた。人間の役者でもここまでやるのは大変だろうと彼は語っている。



中でも撮影が大変だったのは「ジャックワームとオオカミとベンジーが一緒に出てくるシーン。ベンジーの目の前でクマが宙を飛び、オオカミのすぐそばに着地するというむずかしいところで、タイミングが狂えば大変なことになりかねない。

この映画にはクマ、オオカミのほかには、クーパー、ワシ、ウサギ、アライグマ、フクロウ、クーパーの赤ん坊23匹、カエルが出演している。ラスト・シーンはハリコプターでしかいけない高山の頂上で行なわれ、一週間というものの、スタッフと小道具類にベンジー、クーパー、オオカミが連日ハリコプターで運ばれるという大変な作業が続いた。しかし「舞台背景が壮観で、それだけの価値はあった」とキヤンプ監督は語っている。



＊ものがたり

あのベンジーが遭難した。海上で撮影中に船から投げ出されてしまったのだ。荒れ狂う嵐の海を泳ぎきって、やつと陸地にたどり着いたものの、そこは見も知らぬ大自然の中。

一人ぼっちのベンジーが森の中で最初に会ったクーパーは、目の前でいきなりハンターに撃ち殺されてしまった。驚いて逃げだしたベンジーは、森の中をさまよううち、岩のくぼみで4ひきのクーパーの赤ちゃんを見つめる。みんなお腹をすかせているようだ。ベンジーは、きつとあの撃たれたクーパーの子供たちにちがいないと思つた。まだひとりで獲物もとれない子供たちだ。森の中には恐ろしい動物たちがたくさんいる。その子たちを見捨てていくことはベンジーにはできなかった。その日

からベンジーの命がけの活躍が始まる。大自然の中で子供たちに教えるなければならないことはたくさんある。だが、いつまでも一緒にいてやるわけにもいかない。そんなベンジーの悩みを解決するアイデアがひらめいた。森で出会った別のクーパーに子供たちをあづけることだ。そのクーパーには子供が「びきしきかない。

だが、4ひきのワンパフたちをクーパーにひきあわせるのがまた大変、ベンジーたちを狙う狼もいるし、熊やワシも爪をといでいる。そんな時、ベンジーの前になつかしい調教師のフランク・インの乗ったハリコプターが現われた。必死にベンジーを捜していったのだ。今とび出せば、家に帰れる……でもベンジーにはクーパーの赤ちゃんたちを見捨てることはできない。揺れ動くベンジーの心のスキについて恐ろしいワシが子供たちを襲つた。

早く子供たちを安全なクーパーの里親にあづけなければ、ベンジーはついに、危険を冒して赤ちゃんたちをクーパーにひきあわせる決心をした……。

## ＊アメリカが絶賛した、素晴らしい演技/ そして感動！

〈ロサンゼルス・タイムズ〉  
「見事に訓練されたベンジーはけなげで、創意に富み、くじけたりはしない——最初の「ベンジー」をご覧になった方、御心配なく。この犬は実際にはあのベンジーの息子ですから。

〈バラエティー〉  
ベンジーは単なるかわい子ちゃんではない。彼は本当に演技ができる！

〈ニューヨーク・タイムズ〉  
ベンジーの愛と勇気、そして……  
観客の興味を引きつけるベンジーの才能はすばらしい！

〈ハリウッド・レポーター〉  
この映画は小さな子供たちの心をとらえると同時に、大人をも十分引きつける魅力を持つ秀作。

〈U.S.A.トゥデイ〉  
「ベンジーはハムレットだってやれるだろう」  
映画の初めの方で、クーパーの母親がハンターに撃たれるのを見たベンジーは、今にも泣き出しそうな表情をする。その後、残された4匹のクーパーの子供の親がわりになった彼は、いらだったり、うれしがったり、こわがったり、怒ったり、ムツとしたり、まごついたたり、ぼんやりしたり、考え込んだり、表情がくるくる変わるのだ。動物の目から、セリフなしで語られるこの映画は、言葉のない、素晴らしい童話のような作品である。



# 3月春休みロードショー

特別鑑賞券(一般¥1200/学生¥1100)発売中

有楽町マリオン9F みか内 ピカデリー2 (201)2881	道玄坂109隣り・サブライム6F 松竹 渋谷セントラル (770)1990	新館オープン 伊勢佐木町3丁目交差点・横浜松竹隣り 横浜セントラル 045(261)5204
上映時間(3館共通) 日・祝及び春休み 9:50 平日 11:40 1:30 3:20 5:10 7:00		